

氏名 秋 岡 達 郎

学 位 の 種 類 医 学 博 士

学位授与番号 乙 第 1126 号

学位授与の日付 昭和55年 9 月 30 日

学位授与の要件 博士の学位論文提出者  
(学位規則第 5 条第 2 項該当)

学 位 論 文 題 目 急性頭蓋内圧亢進時の脳腫脹に関する実験的研究

—脳静脈血および髄液の酸塩基平衡とcerebral vasoparalysis—

論文審査委員 教授 大月 三郎 教授 森 昭胤 教授 寺本 滋

### 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

頭蓋内血腫摘出後にしばしば生ずる急性脳腫脹の病態を明らかにする目的で、雑種成犬を用い、硬膜外バルーン加圧法による急性頭蓋内圧亢進を作製し、その際に生ずる脳腫脹において、CO<sub>2</sub>吸入に対する脳血管反応性および脳静脈血と髄液の酸塩基平衡を検討した。

急性脳腫脹犬ではCO<sub>2</sub>吸入によって頭蓋内圧の上昇反応はみられず、急性脳腫脹のベースには脳血管緊張が消失した cerebral vasoparalysis が存在することが明らかになった。急性脳腫脹時における脳静脈血および髄液はいずれもコントロール値に比して著明な acidosis と hypercapnia を示した。かかる脳組織 acidosis を是正するアルカリ化剤 THAM を投与したところ、9 例中 7 例において cerebral vasoparalysis の回復と頭蓋内圧の下降を認め、急性脳腫脹の本態は metabolic factor の障害を基礎として生じた cerebral vasoparalysis であると推察された。

### 論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は頭蓋内圧上昇に伴う脳組織のアシドーシス、高炭酸症が高度になると脳血管麻痺をきたし、これが急性脳腫脹の重要な因子となり、治療薬としてアルカリ化剤 THAM が有効であることを実験的に明らかにしたものである。急性頭蓋内血腫摘出後にしばしばみられる急性脳腫脹の本態の解明に重要な知見を加えたものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。